



流星



流星 第29号 (OB会誌16号)

題字 河村先生(元部長)

イラスト 伊東(44)

目次

巻頭言	部顧問	平木 教授	3
所感	会長	木村 (36)	4
新主将挨拶	新主将	今澤 (2年)	5
新OB連絡委員挨拶、部員名簿	OB連絡委員	高木 (2年)	5
新入部員挨拶			6
現役報告 平成29年度自動車部活動結果報告、平成30年度自動車部活動計画			7
現役報告 第55回ACK・KITナイトラリー詳細	第55代ラリー委員長	轟貴 (3年)	12
現役報告 全日本エコドライブチャンピオンシップ2017	轟貴(3年)、橋本 (2年)		13
現役支援活動 全日本エコドライブチャンピオンシップ参戦について	現役交流担当	山下 (H1)	17
現役支援活動 現役支援サポート隊の取り組みについて		同上	18
OB会 平成29年度活動報告	事務局	中西 (50)	21
OB会 平成29年度決算報告	会計	武地 (51)	22
OB会 会計監査報告	会計監査	田中 (45)	23
OB会 平成30年度活動計画、役員人事	事務局	中西 (50)	23
OB会 平成30年度予算	会計	武地 (51)	25
OB会 平成29年度会費、部活動援助費、OB会カンパ振り込み状況			26
特別企画 第9回OB会総会報告	関西地区幹事	山崎 (49)	27
第9回OB会総会に参加して(現役より)	轟貴(3年)、橋本 (2年)		29
第9回OB会総会関西地区実行委員会の事務局を担って	関西地区実行委員会事務局	孝橋 (55)	30
第9回OB会総会スカベンジャーラリー結果	実行委員	石田 (55)	31
投稿 いすゞプラザを訪問して		早田 (54)	32
会員名簿(物故者含む)			33
編集後記			34

【重要】事務局からのご協力お願い：

OBの皆様との効率的な連絡・情報交流と通信費用削減のため、Emailアドレスの新規登録並びに時宜を得た更新登録に皆様のご協力をお願いいたします。連絡先は、34ページをご参照ください。



第9回 明専・九州工大自動車部 OB 会総会 記念写真(2017.10.21)

OB 会総会スカベンジャーラリー写真集



参加メンバー



優勝チーム



国技は文化

部顧問 平木 教授

先日、国道 200 号線を車で走っていたところ、「貴乃花」ののぼりが立った飲食店を見かけた。とうの昔に引退した力士ののぼりを立てるなんて、よほど貴乃花のことが好きな人が経営しているのだろうと、相撲に興味のない私は大して気にも留めずにいた。家でテレビを見ていると、九州場所が終わった今でも相撲の話題ばかり目につく。報道番組でもワイドショーでも、ひっきりなしに日馬富士による暴行事件を採り上げている。貴乃花親方の画像が流れるたびに、「福岡・田川市」とテロップが入る。それを見ながら、九州場所の会場である福岡市から近くもない田川市にどうしてわざわざ部屋を置くのかと不思議に感じていた。その貴乃花部屋は、支援者が経営しているちゃんこ料理店の裏手の敷地内にあるらしい。「それってもしかして・・・」。福岡では周知の事実なのかもしれないが、相撲に疎い私はそのとき初めて知ったのである。一昨日、再びそこを通る機会があったので、今度は横目でしっかり見ながら通り過ぎた。案の定である。店の前にある駐車場の端で数人かたまって立っており、その中にテレビカメラがあった。きっと、今もそこに滞在していると言われている貴乃岩が出てくるのを待っているのであろう。

相撲は国技であって、競技（スポーツ）とは異なるものであると思う。競技は数値化して勝者を決める。徹底して、あいまいさの入る余地が排除される。一方、国技は日本の文化である。物言いや団体取り直しが一番があると、会場はとても盛り上がる。見ていて楽しいはずである。でも、勝負をつけるにははいまいすぎやしないか？

（テニスでは画像判定技術が導入されて久しく、選手の要請ですぐにイン・アウトの判定結果が再生され、申し分のない精度を備えている。なら、相撲も土俵にタッチセンサを埋め込めば・・・）私がテレビの相撲中継を見る気になれないのは、取り始めたらすぐに終わるのに、なかなか始まらずに焦れてたまらないからである。焦らして白黒をなかなかつけない。これも文化なのだろう。文化という言葉を使うと、とかく良いものと受け取りがちであるが、実際には良いものも悪いものもごちゃごちゃに混ぜ合わさったものだろう。この中には、貴乃花親方が忌み嫌っているとされる力

士同士の馴れ合いも含まれる。今回の事件で垣間見える理事会内部の対立は、悪い部分を一切取り除いていわば競技に昇華させたい貴乃花親方と、暴力という部分は取り除いて他は残そうとする親方衆との考え方の相違によるもののようにも思える。

ろくに見もしない相撲を語るのはもうやめて、少しは馴染みのあるプロレスに話題を転じると、かつてプロレスでも同じような対立があった。アマレスはスポーツでも、プロレスはショーである。そんなことはわかっている、ショー的要素を排除して純粋に強い者を決めようとするシュートスタイルが日本ではしきりに追求された時期があり、その影響は現在のプロレスでも色濃く感じられる。相手が受身の取れない状態にして危険な大技を畳み掛けても、フォールが奪えないファイトは確かに観る者の体をしびれさせる。でも、これだけの壮絶なファイトを毎回続けられるだろうか？ そうでないことは、三沢光晴や高山善廣らに起こったリング上での悲劇が物語っている。

競技として昇華された柔道は、観ていてどこか面白くなく感じられるのは気のせいであろうか？ 受けた指導の数で勝ち負けが決まってしまうのも、何だか府に落ちない。だいたい、出した技が効いたのか、返し技が決まったのかの判定も観ていてよくわからないし、背中がどれだけ床についたかで決まるといって「技あり」・「有効」の区別も審判次第なところがある。そもそも点数化すること自体に無理があるように思える。相撲だって、いかにも単純なルールに見えて、勝負は必ずしも明快とは限らない。アメリカらしさを象徴するインディ 500 で今年佐藤琢磨が優勝したのは記憶に新しい。こちらは数字だけで勝ち負けを決めるのだから、スポーツである。それなのに、あれだけ盛り上がるのか・・・。日本人はなんて面倒くさいものが好きなのだろうか？

OB 会総会を終えて

自動車部 OB 会会長 木村 (36)

平成29年、第9回明専・九州工業大学自動車部OB会総会は、10月21日、大津市の「KKRホテルびわこ」で開催され、37名が出席し、無事終了することが出来ました。今回担当の、関西地区実行委員会の皆さん、ご苦労様でした。総会準備に加えて、ラリー、カート競技、更に京都御所拝観、時代祭見物と、関西ならではの素晴らしい企画を準備頂きましたが、生憎の台風がらみの雨で、ラリー以外中止となり、本当に残念でした。時代祭は、29年ぶりの中止とかで、お骨折り頂いた実行委員会の皆さんが、一番残念だったろうと思いました。

総会の審議事項、総会前の役員会については、別途報告があると思いますので、総会後の所感をまとめてみました。

会則にあるOB会の2つの目的、1) 会員相互の扶助、親睦、2) 現役自動車部の発展に寄与、について、1) 項については総会、地区部会活動を通じ、ほぼ満足すべき状況ではないかと考えています。2) 項については、現役部活動援助費、現役学生の総会参加交通費の一部補助の金銭的支援のほか、現役との交流会、現役交流担当役員山下氏を中心とした、主催競技への人的支援があり、関係者の時間的、金銭的負担のもとに軌道に乗って来たと思います。

今後、さらに支援活動のグレードアップを図っていくためには、どのような対応が出来るのかが、これからの課題ではないかと思えます。具体的にどうするかは、今後の検討課題にするにしても1) 支援活動を、競技開催のお手伝いの支援から一歩進めて、OB会員が保持する、モータースポーツに関する高度なノウハウを伝授し、現役学生の競技レベルの向上に資するような支援活動を構築できないか。

2) 前から何度か話題のあったKIT-formula へのかかわり方。OB会としての競技への応援参画、及び何らかの形での競技車完成度向上の為のアドバイザー活動。現役自動車部員の、工学部学生としてのメカニック面への参画。等について、今後の課題としていくことが必要かと思えます。

事務局を中心に、素案を検討いただければと思います。

話はかわって、最近の自動車業界の動向は、VW

社のディーゼル排ガス規制への偽装問題から、一気に激変し、7月に、フランス、イギリスが2040年までに、エンジン付き自動車の販売を終了させることを発表しました。また、最近では中国が、2019年から新エネルギー車(EV、PHV、FCV)を、一定割合で生産するよう義務付ける規制の導入を発表しました。特に、中国は販売台数が、米国、日本、ドイツ3国の合計を上回っており、その影響は無視できないでしょう。新エネルギー車の主役はEVであろうと思われませんが、現在の性能では、セカンドカーの域を出ていません。特に、バッテリー容量の増強や、急速充電によるバッテリー寿命の劣化等の解決なくして、主役には成れないでしょう。しかし技術革新は日進月歩であり、次世代バッテリーとして、全固体バッテリーが高性能で、安く供給されることになると、一気に解決するかも知れません。そうすると、自動車1台当たり3万点といわれる部品数は、2万点に減少し、芸術的といってもよい技術の結集であるエンジンや、トランスミッションが不要となり、いわゆるコモディティ化による、メーカーの乱立と、従来の下請け部品製造工場の淘汰、再編成は、大きな混乱を招くことでしょう。これは、大気汚染や温暖化防止の観点からは、避けて通れない道かも知れませんが、その昔、ガソリンエンジンの排ガスの匂いに惹かれて、自動車部の門をたたいた一人としては、残念な思いでもあります。

更に、話は変わって、今総会の会場は、8年前と同じ会場で、その時、松尾前会長から会長を引き受けましたので、丁度一回りしたことになります。次回総会は、会長10年の節目に当たります。私も80歳の古台に乗りました。まだまだ元気で、相変わらずゴルフは年160回、孫のテニスの試合応援に、全国に10数回出掛けていますが、いつまでも会長に留まるのは、OB会の更なる活性化のために、決していい事ではないと考えています。次回総会で、これからの10年間を託せる、新役員の選出をお願いしたいと考えています。よろしくお願ひします。

以上

新主将挨拶

新主将 今澤 (2年)

この度、第78代主将を務めさせて頂くことになりした、二回生の今澤と申します。
 このような歴史ある部活の主将を務めさせて頂くことに喜びとともに責任を感じております。

私たち自動車部は年々部員数も多くなってきています。先輩方が築き上げた自動車部を更に良いものにするために部員一丸となって様々な行事に取り組んでいきます。その際にきちんと全員が同じ意識を持って行動できるように主将として努力してまいります。また今年度の二回生は6名おり様々な面で協力しあって活動できればより良い部活になっていくと考えております。

また来年度は学生大会を中心にモータースポーツにも力を入れていきたいと考えております。より強い自動車部を目指し、先輩方を持っている技術を盗む機会を多く作り私たち下級生が熱意を持って取り組む部活動にしていきます。

まだまだ未熟者ではありますが、部員全員で協力し部の発展に貢献していきたいと考えておりますので、今後とも先輩方のご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。

新OB連絡委員挨拶

高木 (2年)

この度新しく自動車部に入部させていただいた、二回生の高木です。
 主務を担当することになったので、しっかり部の活動に尽力していきたいと思っております。
 よろしくお願ひします。

部員名簿

2017.11現在

部員名簿						
役職	学科・学年	氏名	役職	学科・学年	氏名	
1 監督	3	霸	16	4	金粕	
2 主将	2	今澤	17	4	近藤	
3 副主将	2	重富	18	4	國重	
4 ラリー委員長	2	木藤	19	3	天野	
5 ラリー副委員長	2	甲斐	20	3	竹島	
6 会計	2	橋本	21	1	藤原	
7 主務・OB連絡委員	2	高木	22	1	横手	
8 学連	m2	今門	23	1	内山	
9 学連	m1	有川	24	1	原田	
10 学連	2	川野	25	1	渡邊	
11 学連	1	大出	26			
12 学連	1	渡邊	27			
13	m2	漆原	28			
14	m2	中野	29			
15	4	河本	30			

新入部員挨拶

1. 内山 (1年)

小さい頃から自動車が好きだったことがきっかけで自動車部に入部させていただきました。自動車部に入り、初めて間近で整備を見たり、初めてモータースポーツを見たりしました。自動車部部員であるからこそできる貴重な経験をさせていただいてありがたく思っています。女子の力では出来ないこともあります、女子だからこそできることもあると思うのでこれからも精一杯頑張っていこうと思います。

2. 大出 (1年)

私が自動車部に入部を決めたのは、友達と一緒に見学に来て部の雰囲気がいいなと思ったのと、先輩方のお話を伺い自動車部ならではの経験を沢山積めると知ったからです。もともと車や競技について詳しい訳ではないですが、日々新しいことを知れてとても楽しく学ばせてもらっています。これから自動車部でしかできないような貴重な経験を積み、今よりさらに車や競技を好きになれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

3. 藤原 (1年)

4. 横手 (1年)

僕は幼少期から車がとても好きで、中学の時大学に自動車部があることを知り、大学進学したら必ず入部しようと思っていました。今までモータースポーツといえば日本や欧州の高級スーパーカーがレースをするというイメージでしたが、入部後昔の日本車が疾走するライトウェイトスポーツを直で見て、モータースポーツの素晴らしさに改めて気づかされました。ジムカーナやラリー、ダートラと競技種目も様々ですが自分はどの種目にも挑戦してみたいと思っています。また先輩方からたくさん学ぶ、部活を通して自分を磨いていきたいと思っています。

5. 渡邊 (1年)

自動車部に入部したきっかけは、春休みに運転免許を取得し自分で自動車を運転することが楽しいと感じ、漠然とした興味で部会に参加したことです。そこで活動内容に興味を持ち、入部を決めました。入部以後は先輩方の競技に取り組む姿を見て、自分もいつかドライバーとして競技に参加したいという気持ちが強くなりました。まだ分からないことも多いのですが、先輩方からたくさん学びながら今後とも励んで参りたいと思います。よろしくお願いします。

6. 渡邊 (1年)

私は幼少期より自動車が好きで、大学に入ると自動車部に入ろうと決めていました。元々競技が好きだったわけではないのですが、実際にダートトライアル、ラリー、ジムカーナの競技会にオフィシャルとして参加し、間近で自動車競技を見るなかで自動車競技に興味を持つことができました。結果には満足していませんが平成29年秋季全九州学生ジムカーナ大会に先輩に車を貸していただいて出場することも出来ました。また、自動車の整備も実物を目の前にして作業をすることで机上では得られない理解と感動を覚え、楽しんでいきます。春期ダートラ後から時期学生自動車連盟員としての活動もしてきましたが、来年からは正式な学連員として活動していきます。他大学の方と知り合える場でもあるので楽しみです。

7. 原田 (1年)

私が自動車部に入部しようと思った理由は、元々自動車やモータースポーツが好きだったからです。入部してからジムカーナやラリー等、様々な競技に直に触れることができ、自分もやってみたいという気持ちが強くなりました。現在はフィギュアをクリアし、ジムカーナに参加することを目標にしています。宜しくお願いします。

8. 高木 (2年)

この度新しく自動車部に入部させていただいた、二回生の高木です。主務を担当することになったので、しっかり部の活動に尽力していきたいと思っています。よろしくお願いします。

平成 29 年度自動車部活動結果報告

平成 29 年度 自動車部年間スケジュール

- H29 年 4 月 ・ 新入生勧誘
・ 体験入部開催
- 5 月 ・ 全日本学生自動車連盟九州支部ダートトライアル大会参戦
・ 2017 ACK スプリングラリー 開催
- 6 月 ・ 全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ（春季）参戦
・ 新入生歓迎コンパ開催
- 8 月 ・ 全日本エコドライブチャンピオンシップ 2017 参戦
- 9 月 ・ 第 55 回 ACK・KIT ナイトラリー 開催
・ 部内旅行
・ 恋の浦 CUP 2017 参戦
- 10 月 ・ 0B 総会 開催
・ 全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ（秋季）参戦
- 11 月 ・ 工大祭（模擬店出店）
・ 学内マラソン参加
・ 幹部交代式
- H30 年 3 月 ・ 追い出しコンパ開催

<本年度の主な活動内容>

1. 新入生体験入部

本年も 4 月に新入生を対象に実際にカートに乗って走る、体験入部を実施しました。また、車庫前のフィギュア（自動車運転競技会）練習場での運転体験の実施や競技車両の展示を行いました。その結果 7 名が新たに入部しました。今後も継続して部員数増加を目指した活動を続けていきます。



2. 全日本学生自動車連盟九州支部（以下、学連）が主催する

ジムカーナ・ダートトライアル大会への参戦

本年度はダートトライアル 1 戦、ジムカーナ 2 戦が開催されました。各大会での成績は以下の通りです。

全九州学生ダートトライアル選手権大会	団体の部	第 3 位 / 5 校中
春季全九州学生ジムカーナ大会	団体の部	第 3 位 / 6 校中
秋季全九州学生ジムカーナ大会	団体の部	第 3 位 / 6 校中

なお、当部から 5 名の連盟委員を派出し、学連の運営に携わっています。

また、選手以外の部員はオフィシャル（競技役員）として、全員が大会に参加しています。



全九州学生ダートトライアル大会 団体の部 第3位（春季）



全九州学生ジムカーナ大会 団体の部 第3位（秋季）

3. 全日本エコドライブチャンピオンシップ 2017 への参戦

(8月21日鈴鹿サーキットにて)

昨年度に続いて本年度も全日本学生自動車連盟と環境省が共同で開催している全日本エコドライブチャンピオンシップに参戦しました。参加メンバーはドライバー；河本(4年)、金粕(4年)、轟(3年)、ナビゲーター；橋本(2年)、重富(2年)、大出(1年)、応援・ヘルパー；木藤(2年)、内山(1年)、横手(1年)の計9名です。

競技は、ドライバーとナビゲーターの二人一組でサーキット、チャレンジ、テクニカルの3つのラウンドをそれぞれ別の車種で走行し、燃費とタイムを点数化した合計点の総合点で競い合いました。今大会では、前回大会で学生の部優勝していたこともあり、栄光のゼッケン1を車体に貼り付け、走行することができました。本年度大会ではトヨタ プリウス PHV、日産 NOTE e-POWER、ホンダ フィットの3車種を用いて競技を行いました。

その結果、学生自動車部クラス 3位/35 チーム中
総合成績 7位/58 チーム中

と好成績を収めることが出来ました。来年度は総合優勝を目標に参戦を計画しております。



チャレンジラウンド(スタート前)



サーキットラウンド



表彰式後の全員での撮影

なお、大会に向けた準備として、日ごろから当部の活動にご協力いただいているカーディーラー様のご協力で、使用される車両に慣れるため、実車の試乗および車の特徴をレクチャーして頂きました。重ねて感謝申し上げます。

4. 第55回KITナイトラリーの主催

JAF九州地域クラブ協議会の競技開催内容の変更（チャレンジシリーズを単独開催せず、チャンピオンシリーズに吸収し併催）により、KITナイトラリーは、H28年シーズンよりJAF九州ラリー選手権/JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズに昇格となりました。第55回大会はシリーズ第5戦として、H29年9月2-3日に福岡県北九州市内において開催しました。また、第56回大会は、シリーズ第7戦としてH30年10月28日に開催予定であり、デーラリーとなります。なお、本競技会は従来通り学連の全九州学生チャンピオンシリーズのラリー部門代替競技会となっております。

5. 北九州オートクラブ（ACK）が主催するラリーの準備と運営

JAF加盟クラブ北九州オートクラブ（ACK）の主要メンバーとして5月に開催した2017ACKスプリングラリーの事前準備および競技会運営全般を担当しました。

6. 恋の浦CUPダート2017への参戦

スピードパーク恋の浦で行われた2時間のダート耐久戦に参戦しました。慣れないダートコースでさらに耐久戦ということもあり、例年参加しているジムカーナなどとは一味違った楽しさがありました。今後も継続的に参戦していく予定です。

7. 日常の部活動

日常の部活動として、車庫前におけるフィギュア（自動車運転競技会）の練習、部車および部員車両の整備を行いました。



部車の整備風景

8. オートポリスで行われるレース、他クラブの主催するジムカーナ・

ダートトライアル・ラリー等のオフィシャル（競技役員）活動

例年、オートポリスサーキットの協力団体として、SUPER FORMULA、SUPER GT、およびゴールドカップレース等にオフィシャルとして参加しております。また、地元で開催された全日本ラリー、全日本ジムカーナ、全日本ダートトライアルや、他クラブ主催のジムカーナ、ダートトライアルの地区戦等には、例年通りオフィシャルとして運営に協力しております。

9. JAF 公認競技会への参加(個人)

H29年度は金粕(4年)がJMRC九州ジムカーナジュニアシリーズに参戦中です。現在の成績は、JMRC九州ジムカーナジュニアシリーズ B-FF1クラスのシリーズ第6位です。また、吉岡(4年、ドライバー)、有川(4年、ナビゲーター)がJMRC九州ラリーチャレンジシリーズに参戦中です。現在、1クラスのシリーズ第2位です。その他、数名がJMRC九州ラリーチャンピオンシリーズにナビゲーターとしてスポット参戦いたしました。

10. 学内マラソンなどの学内行事への参加

例年、工大祭では模擬店を出店しています。毎年好評をいただいているたこ焼きを販売しています。価格は1パック8個入り100円の衝撃価格です。今年も行列ができていました。学内マラソンにも参加しています。仮装区間が設定されており、自動車部はレーシングスーツとヘルメットで学内を走りました。



工大祭での模擬店の様子



学内マラソンの様子

平成 30 年度自動車部活動計画

- | | |
|-----------|--|
| H30 年 4 月 | ・新入生勧誘
・ダートトライアル選考会兼練習会
・体験入部（カート走行会） |
| 5 月 | ・全日本学生自動車連盟九州支部ダートトライアル選手権大会
・2018 ACK スプリングラリー開催
(JAF 九州選手権第 3 戦、JMRC 九州 CH シリーズ第 3 戦)
・ジムカーナ選考会兼練習会 |
| 6 月 | ・全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ選手権大会（春季）
・新入生歓迎会 |
| 8 月 | ・全日本エコドライブチャンピオンシップ 2018（鈴鹿サーキット） |
| 9 月 | ・大学自動車部合同強化合宿（スピードパーク恋の浦）
・部内旅行 |
| 10 月 | ・全日本学生自動車連盟九州支部ジムカーナ選手権大会（秋季）
・10 / 28 第 56 回 ACK・KIT 北九州ラリー 開催予定
(JAF 九州選手権第 7 戦、JMRC 九州 CH シリーズ第 7 戦) |
| 11 月 | ・工大祭（大学祭）
・幹部交代式 |
| 12 月 | ・学内マラソン大会 |
| H31 年 3 月 | ・追い出しコンパ |

以上

現役九州工業大学自動車部 FaceBook 紹介

<https://www.facebook.com/kyutech.ac315/>

現役が日頃の健闘振りを内外に広く発信して、「広報」と「マーケティング」を目的に双方向に運用していきます。(管理者:金粕 4 年生)
FaceBook のアカウントなくとも閲覧は可能です。



第 55 回 ACK・KIT ナイトラリー詳細

第 55 代ラリー委員長 靄 (3 年)

2017 年 9 月 2～3 日の第 55 回 ACK・KIT ナイトラリーが無事終了いたしましたので報告します。

今年は前年同様、小倉南区の林道貫山線にて、総距離 120km で行いました。一昨年から SS ラリー(第 2 種アベレージラリー)として開催しており、昨年は J A F 九州ラリー選手権第 1 戦、J M R C 九州ラリーチャンピオンシリーズ第 1 戦、J M R C 九州ラリーチャレンジシリーズ第 1 戦として開催いたしました。今年度は J A F 九州ラリー選手権第 5 戦、J M R C 九州ラリーチャンピオンシリーズ第 5 戦、J M R C 九州ラリーチャレンジシリーズ第 5 戦を兼ね 9 月開催としました。

九州北部豪雨の影響で林道の一部が使えなくなり、エントラントの方が集まるか心配しておりましたが、29 台のエントラントの方が来て下さり、学生の方も多く大変嬉しく思っております。

当日は天候も回復し、大きな事故もなく無事に競技の進行をすることが出来ました。今回のラリーでは分からないことも多くありましたが、徳尾さんをはじめとする ACK の皆様並びに OB の皆様に全面的に協力していただき、今年も無事に開催することが出来ました。関係者皆様に心より御礼申し上げます。

来年で第 56 回となりますが、10 月に日程変更となり、デーラリーとなますので、名称が「ACK・KIT ナイトラリー」から「ACK・KIT 北九州ラリー」に変更となります。コースは今回と同じ林道貫山線での開催を予定しており、今年度の反省を生かしつつ、皆様に満足して頂けるようなラリーを作りますので、今後とも皆様どうぞよろしくお願い致します。



全日本エコドライブチャンピオンシップ 2017 学生クラス表彰台

靄（3年）、橋本（2年）

2017年8月21日(月)に鈴鹿サーキットにて開催された全日本エコドライブチャンピオンシップ2017に参加しました。メンバーは河本・金粕(4年生)、靄(3年生)、重富・橋本・木藤(2年生)、横手・大出・内山(1年生)の9名です。

ドライバーとナビゲータの二人一組でサーキット、チャレンジ、テクニカルの全3ラウンドをそれぞれ最新のエコカーで走行し、燃費(電費)とタイムの合計ポイントによって順位を競いました。

本レースは、環境省が推進する国民運動「COOL CHOICE」の一環として自動車関連団体と連携し、自動車レースの聖地である鈴鹿サーキットで本レースを開催することで、学生および全国のエコドライブトップランナー企業・自治体が、普段のエコドライブの技術や成果を競い合う場として、燃費が良く、CO2および交通事故削減に寄与する「エコドライブ」の全国的なムーブメントをつくることを目的としています。

競技内容としては、鈴鹿サーキット国際レーシングコース、サーキット外周路等を用いて、主催者にて準備した車両(3車種)を、車種毎に異なったコースをそれぞれ走行。燃費(200ポイント満点)とタイム(100ポイント満点)の3車種合計のポイントによって、順位を競います。

第1ラウンド：チャレンジラウンド

車両：トヨタ プリウス PHV

ドライバー：金粕/ナビゲータ：橋本

メインストレート上にてスタートし、本コースを5周走ります。昨年、学生の部優勝を勝ち取ったため、栄光のゼッケン1を付け、先頭でスタートを切ることができました。プリウスPHVには完全に電気で走るEVモードがあります。バッテリー使用量は20%分と決められており、いかにバッテリーをぎりぎりまで使うかが非常に難しかったです。燃費だけに的を絞った走りを目指し、結果は61チーム中8位でした。

第2ラウンド：テクニカルラウンド

車両：日産 NOTE e-POWER

ドライバー：河本/ナビゲータ：大出

本コースを4周走った後、ピットレーンからパドックに移動し2つのチェックポイントにて課題をクリアします。チェックポイントでは、1.スラローム 2.空気圧チェックの2つの課題が課せられました。また、このラウンドでは1周4分30秒の目標タイムとの差をタイムポイントとして計算します。常にストップウォッチとにらめっこをしながらのラウンドとなりました。大会に向けて事前に北九州日産様で試乗車を運転させていただきましたが、アクセルOFF時の回生ブレーキを完璧に使いこなすことが難しかったです。結果は61チーム中11位でした。

第3ラウンド：サーキットラウンド

車両：ホンダ フィット

ドライバー：靄/ナビゲータ：重富

ピットガレージよりスタートし本コースを6周します。燃費だけに的を絞った走りを目指しました。最も長い距離を走るラウンドであり、前が詰まってしまい、自分のペースを守るのに必死でした。結果は61チーム中10位でした。

以上3ラウンドの合計ポイントにより、学生クラスの順位は36チーム中3位、総合順位では7位となりました。目標にしていた総合優勝は出来ませんでした。2年連続の学生クラスでの表彰、さらに昨年優勝の片山右京氏率いるチームYOKOHAMA（総合順位10位）にリベンジを果たすことができました。また、競技の合間を縫って、1年生女子部員が作成したエコドライブ宣言メッセージポスターが特別賞を受賞しました。

競技終了後には片山右京氏らのトークショーや参加者同士の意見交換会が行われ、今回の大会について振り返るとともに、興味深いお話を聞くことができました。

今年度もトヨタ、日産、ホンダ、モビリティランド、NOKの各社の人事関係者も参加しており、各企業と学生との交流の場としての印象を強く受けました。今回の全日本エコドライブチャンピオンシップの参加にあたり、OB会よりいただいた援助金を大切にに使わせていただきました。ありがとうございました。

OBの方々をはじめとする自動車部の皆様のご支援により参加することができた今回のエコドライブチャンピオンシップでの経験を活かし、運転技術の向上に努めて行きたいと思えます。そして来年はこの悔しさをばねに、総合優勝を目標にし、継続して参加できればと思っています。

最後になりますが、現地まで応援に駆けつけて下さった孝橋さん、近藤さんをはじめとするOBの皆様、試乗や運転指導をお願いさせて頂いた、トヨタ、日産、ホンダの各ディーラー様、その他各方面の皆様のご協力、ご支援、ご声援のお陰で学生の部3位という素晴らしい結果を残すことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

以上

<参加者コメント>

・河本（4年生）

エコドライブチャンピオンシップは4回目の参戦で、前年度総合2位でしたので今年度こそは！と総合優勝を目指しました。私はテクニカルステージの日産ノート e-power のドライバーを務め、e-power という今までにない車両に慣れるため、学校近くの日産を伺い試乗させていただきました。試乗には同乗する1年生と一緒にいき、慣れない車の説明や車両の特性、燃費走行のコツを教えていただき2人でポイントを稼げる作戦を考えました。テクニカルステージは全体の燃費でのポイントと1周の目標タイムとの誤差でのポイントで競われます。つまり燃費とタイムの両方で1位のポイントを獲得する可能性があり、それを目標にコ・ドライバーと連携して競技を行いました。その結果、このラウンドで11位という結果を残すことが出来、学生の部3位に貢献することが出来ました。

・金粕（会計：4年生）

前回大会に引き続き2度目のプリウスドライバーとしての参加で今回使用するPHVにも事前に試乗し、説明書、HPなどで車輛研究を行い、ゲームで鈴鹿を走るシミュレーションをして臨んだ大会でした。前回大会では学生の部で優勝したので、ゼッケン1番、1番グリッドからのスタートとなり非常に誇らしかったです。今回は規定タイムより遅く走るとペナルティを取られる条件が付き、ある程度のタイムで且つ燃費を稼がないといけなかったのが難しい戦いでした。自分は規定タイムギリギリで走り、ポイントの配分が高い燃費を稼ごうと走り、このラウンドの鍵となるEVモードを効果的に使ったことで8位という結果が残せたと思います。

・ 轟（主将・ラリー委員長：3年生）

今回、初めてエコドライブチャンピオンシップに参加しました。初めての参加で、初めてのドライバーだったので前回大会優勝をしたドライバー2人の足を引っ張ってしまうのではないかととても内心不安でした。自分が乗るFITの特性を知るためにディーラーの方に試乗のお願いをして試乗させて頂き慣れるということが出来ました。結果はかなりのプレッシャーの学生3位というまずまずの結果だったので内心ほっとしています。なかなか経験できない鈴鹿サーキットを走行でき、学生3位という成績を残せたことはとても貴重な経験をすることが出来、良かったです。

・ 橋本（主務：2年生）

2016年大会に引き続き、ナビとして参加させていただきました。鈴鹿サーキットで、さらにメインストレートで1番グリッド、先頭でスタートを切るというのはなかなか経験できることではないと思います。また、競技中はナビとして助手席でタイムの監視と、EVモードの切り替えなどの操作をしました。目標としていた総合優勝には届きませんでしたが、学生クラスで3位という結果が残せました。貴重な経験ができたと思います。来年は、ドライバーとして参加したいと思います。

・ 重富（2年生）

僕は今回2回目で、ナビとして参加しました。今回も前回と同様、フィットのナビだったので、前回の経験を少しは生かすことが出来たと思います。また、来年は3年間の経験を生かし、ドライバーとして参加したいです。

・ 木藤（2年生）

今回の大会はサービスとして参加しましたが鈴鹿サーキットという大きな会場を肌で感じ、大会の雰囲気をつかむことが出来ました。九工大自動車部としても昨年の優勝に続き学生3位に輝いたので実力を証明することが出来たと思います。来年の大会は自分もドライバーとして出場し、先輩たちの結果に恥じぬよう走りたいです。

・ 大出（1年生）

今回の大会は、自動車部の活動の中で初めてナビとして参加させていただきました。全国規模の大会に参加し、有名な鈴鹿サーキットで走行するという貴重な体験ができてとても嬉しく思います。また、先輩方の大会に真剣に臨まれる姿勢を見て学ぶこともできました。非常に有意義な体験ができたと思います。

・ 横手（1年生）

エコドライブチャンピオンシップを通して鈴鹿サーキットを直でみるという貴重な体験をさせていただきました。また、大会を勝つための姿勢や心構えを選手として参加された先輩方を見て学ぶことができました。次回も積極的に参加していきたいです。

・ 内山（1年生）

今回のエコドラでは競技自体に参加したわけではありませんが、鈴鹿サーキットに実際に行くことができて良い体験になりました。また、エコドライブ宣言メッセージポスターでは特別賞をいただいて嬉しかったです。



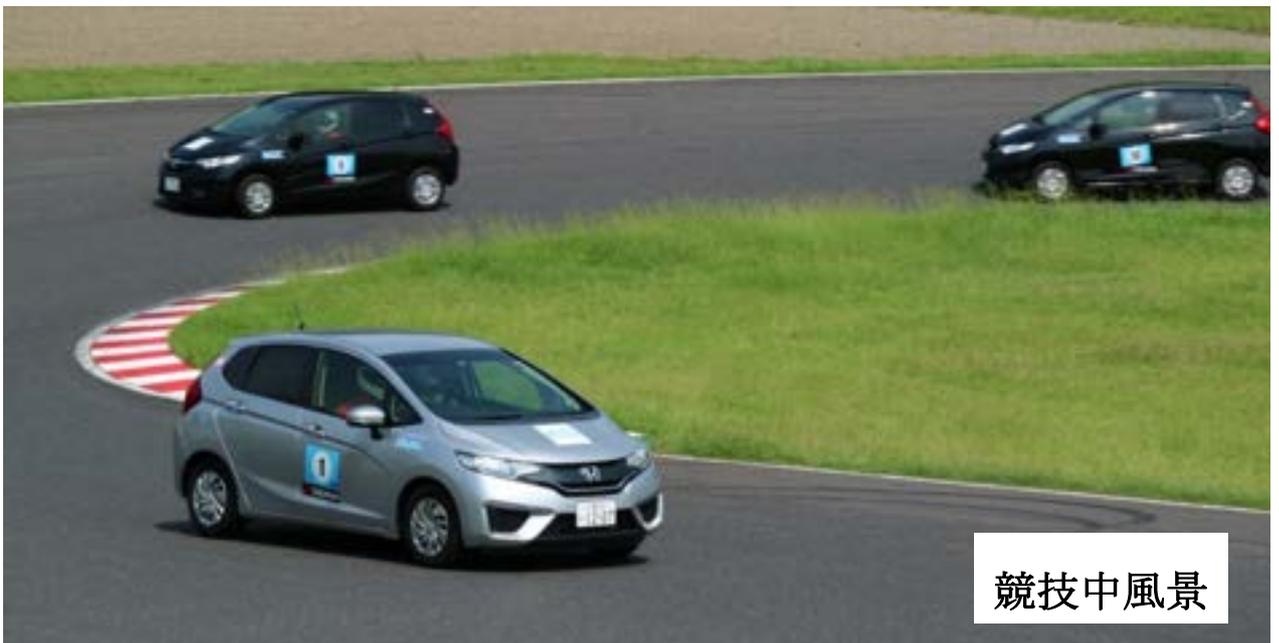
COOL CHOICE賞
九州工業大学



表彰式後集合写真



スタート前風景



競技中風景

全日本エコドライブチャンピオンシップ参戦について

OB会 現役交流担当 山下(H1)

私が今日のように現役自動車部員と関るようになったのは、平成23年に戸畑区内に引越して来てからのことでした。それまでも、ACK主催のラリーの準備等で、現役部員と活動を共にしてはいましたが、日々の部活動に関してはあまり関与していませんでした。

当時の自動車部は各学年ごとの部員は2,3名。毎年12~15名前後の部員数で推移していました。

なかなか部員が増えず、KIT Night Rallyの開催も危ぶまれるような状態でした。また、部員数の減少に伴って、責善会から配布される部活動費も徐々に減額され、部車の維持費にも苦労していました。そんな中、幹部部員たちと部活動活性化の取組みについて議論をしている際に、エコドライブチャンピオンシップ(EDC)の話が出て来ました。2014年(平成26年)のことでした。

当初、部員たちはそれ程乗る気ではありませんでした。彼らは、当然ですが、ジムカーナやダートトライアルといったドライブテクニックを試せる競技に参加したい意向が強かったのです。しかし、全日本学生選手権に出場するには参加車両の問題などハードルが高く、EDCも同じ全日本学生自動車連盟(学連)の主催する全日本学生選手権だからと納得させ、エントリーさせました。大学側に自動車部をアピールするには、学連の全国大会で成績を残すことが一番だからです。

2014年大会は、事前準備が殆んど間に合わず、(大会規則書さえ直前に入手するような)ぶっつけ本番の状態での参加でした。続く

2015年大会は、前年出場した部員が残っていたこともあり、前年度の情報の共有や事前準備も少しは出来ており、個人的にディーラーに事前試乗に行ったりして準備していたようです。そして昨年(2016年)大会。今回は、事前準備もしっかり出来ており、スポンサー依頼書を準備して大学周辺のディーラーに試乗に行き特性をチェックしたりしたようです。その結果、学生チャンピオンに輝くことが出来ました。

本年は惜しくも順位を落としてしまいましたが、先輩から後輩への情報の伝達や指導が上手く機能する限り、継続してTOP10内の成績を修めることは可能だと思います。また、本年4月にはEDC2016の業績を称え、入学式において学長表彰を授与されました。後日聞いたところでは、新入生や父兄の方にはとても良い印象を与えたようです。そのせいか、今年は8名もの新入部員を迎えることができ、部員総数も25名を数えるまで増えました。女子部員も入部し、AT免許取得者の増加や積載量制限の変更等の免許制度の変化もあり、今後の自動車部の活動は変わって行かざるを得ないと思います。また、長年に亘り、私たちを公私共にご指導いただいた徳尾三郎氏が一線を退かれた今、私たちOBが中心になって、現役部員たちの部活動を支援していかなければならないと考えます。

現役部員あつてのOB会です。OBの皆様の尚一層の現役へのご支援をお願いします。

現役支援サポート隊の取り組みについて

-H28年10月～H29年9月計画および実績-

OB会 現役交流担当 山下(H1)

計画：H28年10月1日

実績：H29年5月2日

追記：H29年10月9日

今期の計画および実績（H28年10月～H29年9月）

- ① 第55回 KIT Night Rally 準備の支援（H29年4月～H29年9月）
 - ・コースおよび問題の監修
 - ⇒ACK スプリングラリー終了後取組み開始予定
 - ⇒試走および問題設定監修（H17 犬丸、H22 北垣、H23 岩本、H24 石原）
 - ・官公庁届出対応
 - ⇒ACK スプリングラリー終了後取組み開始予定
 - ⇒小倉南警察署対応支援（S59 小川）
- ② 第55回 KIT Night Rally 当日支援（H29年9月2日～3日）
 - ・事前案内（7月初旬）
 - ⇒連絡希望登録者へのメール配信予定（山下）
 - ⇒未実施
 - ・募集（8月中旬）
 - ⇒連絡希望登録者へのメール配信予定（山下）
 - ⇒未実施
 - ・最終確認とスケジュール連絡
 - ⇒8月下旬予定
 - ⇒現役部員より電話連絡実施
- ③ 新入生勧誘のフォロー
 - ・展示車両の手配、貸し出し。
 - ⇒部車および部員個人所有車展示のため、OB所有のラリー車の展示は無し。
- ④ 競技参加支援
 - ・活動援助金制度の運用（H26年7月より運用開始）
 - ⇒H28年10月9日 秋季全九州学生ジムカーナ選手権大会（選手・応援者 計19名）
 - ⇒H29年5月6日 全九州学生ダートトライアル選手権大会（選手・応援者 計30名）
 - ⇒H29年6月18日 春季全九州学生ジムカーナ選手権大会（選手・応援者 計28名）
 - ⇒H29年8月21日 全日本エコドライブチャンピオンシップ（選手・応援者 計9名）
 - ⇒H29年5月13日 九州ラリー選手権第2戦 ACK（吉岡、有川）
 - ⇒H29年5月28日 九州 Jr. ジムカーナシリーズ第2戦 T-XT（金粕）
 - ⇒H29年7月15、16日 九州ラリー選手権第4戦 GRAVEL（吉岡、有川）
- ⑤ ラリー啓発
 - ・部内ラリーの開催 ⇒検討中
 - ・ナビ講習 ⇒検討中
- ⑥ 日常練習の活性化
 - ・フィギュア練習の指導 ⇒検討中
- ⑦ 親睦行事
 - ・OB総会 ⇒H29年10月21-22日 KKR ホテルびわこ於
 - ・餅つき会（H29年12月30日）⇒例年通り開催予定

- ⑧卒業生のフォロー
- ・追出しコンパ ⇒H29年3月24日(山下途中参加)
対象者；穴井 ()、大久保 ()、吉岡 ()、有川 ()
 - ・卒業後の連絡先の把握

穴井	就職
大久保	就職
吉岡	進学
有川	進学
- ⑨休眠OBの掘起し
- ・活動実績の送付（メール）⇒検討中

以上

現役支援サポート隊の取り組みについて

－H29年10月～H30年9月計画－

OB会 現役交流担当 山下(H1)

計画：H29年10月1日

1. 今期の計画（H29年10月～H30年9月）

- ①第56回 KIT Night Rally 準備の支援（H30年9月～H30年11月）※11月3-4日開催予定
 - ・コースおよび問題の監修
 - ・官公庁届出対応
- ②第55回 KIT Night Rally 当日支援 ※11月3-4日開催予定
 - ・事前案内（10月初旬）
 - ・募集（10月中旬）
 - ・最終確認とスケジュール連絡
- ③新入生勧誘のフォロー
 - ・展示車両の手配、貸し出し。
- ④競技参加支援
 - ・活動援助金制度の運用（H26年7月より運用開始）
- ⑤ラリー啓発
- ⑥日常練習の活性化
 - ・フィギュア練習の指導
- ⑦親睦行事
 - ・OB交流会
 - ・餅つき会（H29年12月30日）
- ⑧卒業生のフォロー
 - ・追出しコンパ
 - ・卒業後の連絡先の把握
- ⑨休眠OBの掘起し
 - ・活動実績の送付

OB会部活動援助費 会計報告

九州工業大学 自動車部

H28.10.1~H29.3.31

収入	金額	支出	金額
前期繰越		競技会出場援助費	
・通帳残高		・H28. 9. 17-18 ラリーチャンピオン戦 4名	
・手持現金		・H28. 10. 9 秋季全九ジムカーナ 19名	
H28.10.1受取利子			
H28.10.4OB会部活動援助費		小計	
		期末残高	
		・通帳残高	
		・手持現金	
		小計	
合計		合計	

貯金通帳残高および手持現金に相違ない事を確認いたしました。
平成29年4月4日

明専・九工大自動車部OB会 現役支援担当 山下



OB会部活動援助費 会計報告

九州工業大学 自動車部

H29.4.1~H29.9.30

収入	金額	支出	金額
前期繰越		競技会出場援助費	
・H29.3.31 通帳残高		・H29. 5. 6 全九ダートラ 30名	
・手持現金		・H29. 5. 13 ラリー チャレンジ戦2名	
・H29.4.1受取利子		・H29. 5. 28 ジムカーナ ジュニア戦 1名	
・H29.5.16 OB会部活動援助費		・H29. 6. 18 春季全九ジムカーナ 28名	
・H29.9.23 OB会部活動援助費		・H29. 7. 15,16 ラリー チャレンジ戦2名	
・H29.9.23 OB総会参加交通費補助		・H29. 8. 21 EDC2017 9名	
		小計	
		期末残高	
		・通帳残高	
	・手持現金		
	小計		
合計	合計		

貯金通帳残高および手持現金に相違ない事を確認いたしました。
平成29年10月1日

明専・九工大自動車部OB会 現役支援担当 山下



会計監査報告書

平成29年9月24日

明専・九州工大自動車部OB会

会長 木村 殿

平成29年9月23日 明専・九州工大自動車部OB会 会計に関する帳票・領収書などを精査しました。その結果平成29年度の決算報告については、適法・適正に処理されていることを確認しました。

以上報告いたします。

会計監査

田中



平成30年度活動計画(H29/10-H30/9)

最終改訂:平成29年10月14日

平成29年9月30日

OB会 事務局 中西 50)

【上期活動計画】

(OB会員敬称略)

平成29年

- 10/9 :【役員会-KITAC】「平成29年度活動・会計報告、平成30年度活動計画(案)・会計予算(案)
- 10/21 :【総会前役員会-KITAC】“定例総会時役員会審議事項一覧”により開催
- 10/21-22 :【平成29年(第9回)OB会総会】開催(関西地区主催: 於 KKRホテルびわこ)
- 12/中 :流星29号発行(星田)
- 12/末 :餅つき会(現役との交流)

【下期活動計画】

(OB会員敬称略)

平成30年 4/中

- 4/中 :【役員会-KITAC】「平成30年度活動報告(上期)、会計報告(上期)及び現役支援活動・支援金決算報告(上期)の件」
- 5/上 :部活動援助費上期分(H29.10.1~H30.3.31カンパ分)一括送金
- 8/下 :全日本エコドライブチャンピオンシップ2018(鈴鹿サーキット) 現役参戦 応援
- 9/上~9/下 :現役交流会費提出⇒OB会会計から
- 9/上~9/下 :現役交流会開催

※ご参考(平成31年度)

- 10/27-28 :第56回KITナイトラリー現役支援(JMRC九州ラリーチャレンジシリーズ第7戦)

第9回OB会総会報告

関西地区幹事 山崎（49）

平成29年度自動車部OB会総会を10月21日びわ湖畔のKKRホテルびわこにて開催し、皆様のご協力のお陰で、無事に終える事ができました。開催地区を代表して厚く御礼申し上げます。有難うございました。

今回は、残念ながら平木顧問が学会の都合でご欠席となりましたが現役は覇主将と橋本主務の2名とOBは木村会長を初めとし35名で総計37名の方々が全国各地から参加して頂きました。一日目のスカベンジャーラリーと総会・懇談会は予定通り実施できましたが、全くの想定外の季節外れの超大型の台風21号の接近を受け十分な準備をしていたにも拘わらず二日目のイベントは2つとも中止となりました。参加の皆様もやむを得ないと納得頂けたと思います。以下、項目別に報告させていただきます。

1. 準備状況

この度のOB会総会に向けて、平成28年の夏から準備開始し9月11日にキックオフをしました。8年前の当地区の実行委員の方々は8歳分フットワークが悪くなり、又健康状態や介護の都合等で参加できない方もおられ、体制は万全ではありませんでした。ところが、うまくしたもので、転勤等で新しく加わって貰えた方々や事務局として大車輪の活躍をして頂いた孝橋さんを始め、最終的には11名の実行委員となり役割分担をして、無事総会の準備ができました。又、6回の準備会合を重ねましたが、実行委員の住まいは滋賀県、京都府、奈良県、兵庫県と広範囲なため、主にほぼ中間地点の大阪市内の公的施設で会合をしました。会合の後で大阪のややディープな場所で懇親会を重ね、新たに加わった方とも仲良くなり楽しむ事ができました。

又、OB会本部の支援も色々とお助けしました。一例として、本部会計より事前に負担金を頂戴したお陰で貸会議室の費用・文房具・通信費等に充当でき大いに助けました。

OB会のホームページでは準備状況を報告後逐次掲載して頂き、総会当日までのカウントダウンまでして頂き、無言のプレッシャーとなり、励まされました。ありがとうございました。

最新の名簿資料・前回の総会の資料等も提供頂き効率よく準備できました。お礼申し上げます。

2. 総会

木村会長による挨拶、その後事務局の中西さん、会計の武地さん、会計監査代理の石野田さんによる議案報告が行われ全ての議案が可決され無事終了しました。

3. 懇談会

盛り沢山の内容でしたが、盛り上がり過ぎて良かったと思います。木村会長による乾杯の音頭により始まり、次に現役の部活動内容プレゼンがありました。その中、本年の全日本エコドライブ大会状況説明時に昨年度優勝チームのため「栄光のゼッケン1番で本年は出場した」という発表と写真で盛り上がりはピークに達しました。その他、女子部員が複数いる事や興味深い活動内容で時代の変化を痛感しました。現役の皆様有難うございました。

その後、各地区活動状況紹介、スカベン表彰、ホームページ紹介と続き、総会参加者最高齢84歳の古場様による近況報告と自己紹介、指名・自薦による方々の自己紹介で元気づけられたり爆笑したりであつという間に時間が過ぎ去りました。巻頭言は定番の52卒の坂井さんに代わり61卒の中村さんが見事にこなして頂き、最後に木庭副会長の万歳三唱で締めくくりました。

おもてなしの面でもホテルにて関東の佐藤様の国家公務員共済割引の適用のお陰で近江牛も飲み放題も楽しむ事が出来ました。本当にありがとうございました。

4. イベント

前々回の新城ラリー見学、前々回のスカベンラリー、カート大会に触発され自動車部らしいものということで今回はスカベンとカート大会と京都の時代祭見学を計画しました。

スカベン中部地区・関東地区からの参加の利便性を考慮し、期待をこめ滋賀県の米原駅をスタート地点と設定しコースを組みました。関東から唯一遠征して参加であった榎本さん/近藤さんのランドローバーがスタート地点まで来られたのにマシントラブルによる無念の不参加となるも、KKRホテルに到着前には既にディーラーによりレッカー車とレンタカーの用意がされ、アフターケアの素晴らしさに感心した次第です。スタート直前までハプニングの連続でしたが、現役学生に興味を持って頂いたこと、優勝の小川さんが大変面白かったとのコメントがあり、実施出来て良かったと思います。私も試走を通して季節毎の北琵琶湖地方を再発見でき良い思い出となりました。何回にもわたる遠路への試走・準備ありがとうございました。

カート大会は前回の盛り上がりを受け関西のカート会場を予約し、賞品も用意し、前日の土曜日午前中までは決行の予定でしたが台風の接近に伴う

スピン事故等及び帰路の交通事情を鑑み前日の午後中止の判断をしました。

京都の時代祭は京都三大祭りで、しかも今回の日曜日に実施と言う事で人気を集め事前に18名分の特別鑑賞券を購入して準備していましたが、金曜日の夕方に今年度は中止の発表があり、日曜日は中止で予備日の月曜日への延期もしないという異例の事態となりました。申し込み者の方から「見たかったな」とのコメントも多く寄せられました。雨天で時代祭が中止になった際の別の京都観光プランも用意しておりましたが、帰路の交通事情等を考慮してこれらも中止として皆さんに早めの帰宅を勧めました。来年の時代祭の11月22日は月曜日ですので、行けそうな方はご準備の程お願いします。

5. 二次会、明トラ、カラオケ

翌日のイベントが中止となり、皆さん心に余裕が出て、色々とお楽しみされたと思います。カラオケは23時まで、明トラも24時頃まで、二次会は朝の1時半頃までと、会場になった方の寝不足すみませんでした。これも買い出し準備、後片づけ等々と有難うございました。

6. 終わりに

近年は、私は二年毎に開催されるOB会が空気のような存在になっている気がしておりました。

二年毎に開催されて当たり前で各地区は何の苦勞もなく開催しているのではないかと。しかし、現実には厳しく8年前とは違う苦勞をし、違う達成感を味わう事ができ喜びもひとしおでした。

今回も、例年のように卒業年次を超えた全国のネットワークと息子世代より若い現役生との生の交流ができ本当に印象深いものとなりました。こういう感動的な場を継続的に提供できるように今後も各地区の不断の努力を継続していく必要性を再認識しましたし、現役との交流を今まで以上に継続していく重要性を感じた次第です。

今回、台風という自然には全く歯が立たないという事を改めて痛感しましたが、皆様から「これもいい思い出になった」という前向きなコメントも多く寄せられました。「幻の時代祭」、「幻のランドローバー」と思い出はつきませんが、二年後も多くの良い思い出が残る事を期待してやみません。

関西地区では地区OB会で京都・奈良等の散策を楽しんでいますが、総会準備で昨年より一時中断となっていました。総会も無事終えた11月11日に昨年のNHK大河ドラマで話題となった真田一族の和歌山県の九度山を散策し、再開することができました事を報告します。

実行委員メンバーによる今回OB会総会の反省会は現役の方の仕事の都合から年明けに新年会を兼ね1月に予定しています。改善すべき内容を明確にし、九州地区に引き継げるようにしたいと考えております。二年後に九州地区で皆様と再会できることを期待しております。九州地区の皆様にはお世話をかけますが宜しくお願い申し上げます。



今回関西地区総会実行委員の皆さん (敬称略)

石田 三好 中西 三原 小泉 石野田
木庭 中原 橘 山崎 孝橋

第9回OB会総会に参加して（現役より）

霧(3年)

今回、現役部員の代表として10月に開催されましたOB総会に参加させていただきました。まず初めてスカベンジャーラリーというものを体験しました。楽しみながらも琵琶湖の観光ができとても有意義な時間を過ごすことが出来ました。今後の自動車部での旅行でスカベンジャーラリーをしたいと思いました。

OB総会では、大勢のOBの方々の前で現在の部活の活動報告を緊張しながらもさせて頂きました。これからもOB総会の場でいい報告ができるように頑張っていきたいと思います。

2日目のカートは非常に楽しみにしていましたがあいにくの天気で残念だったなと思います。

今回のOB総会に参加してOBの方々のそれぞれの当時の自動車部がどうだったのか知ることが出来たと同時にどのような思いをもって自動車部の部活動に参加されていたのかも知ることが出来ました。皆さん話してくださっていることを聞いていると自動車部に対して本当に多くの思い入れがあるということが分かりました。現役としてもこのようなOBの方がたくさんいらっしゃるということは有り難くそしてとても心強いと思います。これからもこのつながりを大切にもっと自動車部が発展していければいいなと思っております。

橋本(2年)

10月21、22日に滋賀県内で開催されました、第9回自動車部OB総会に参加しました。

一日目はスカベンジャーラリーに参加させていただきました。琵琶湖を一周するコースで、景色が最高でした。今度、もう一度晴れた日に個人的に行きたいなと考えています。

総会は、KKRホテルびわこにて開催されました。上半期の自動車部の活動を報告させていただきました。エコドライブチャンピオンシップについては、目標にしていた総合優勝には及びませんでした。表彰台に上がったという報告をできたので良かったと思います。

2次会では、OBの方々とたくさんお話をさせていただきました。卒業後の進路のことや、就職、団体、車について貴重な情報を得ることができました。

2日目は台風の影響でなくなってしまい非常に残念でした。

OB総会に参加して、また自動車部の主務として、たくさんのスポンサー、OBの方々との交流させていただいたこの1年間は、大変貴重な経験ができたと思います。特に、OBの方々には、広報での助言を多数いただき、参考にさせていただいております。これからさらに現役とOBとの交流が深まればいいなと思います。頑張っ参りますので、今後とも応援のほどよろしくお願いいたします。

第9回OB会総会関西地区実行委員会の事務局を担って

関西地区実行委員会事務局 孝橋 (55)

OB会総会に初参加で実行委員会の事務局を任せられる事になり、また名簿データを使用する必然性からか関西地区の副幹事に推薦され、関西OB会総会を開催するに無事に対応できるのか不安でした。至らぬところは多々あったかと察しますが、幹事の山崎さまをトップに参加の皆様のご協力のお蔭で何とか遂行できたかと思えます。超大型台風21号により残念ながら2日目のイベントは全て中止させて頂きましたが、多くの方から「楽しかった」とのメールを頂き恐縮しております。

事務局として多忙だった時期は、

1. 開催内容（オプションイベントを含め）の決定に合わせ案内状の作成。
2. 案内状の送付（特に封書での案内は案内先のリストアップ・返信はがき案内状の印刷封入・郵便局へ持込発送）、E-mailでは一斉送信したもののその返信がまた一斉送信される仕組みを知らなかったための混乱とちょっと振り回された事でした。
3. 出欠回答の整理と頂いたコメントの対応。（訃報も数件ありました。）
4. そしてやっぱり時間的に大変だったのは、開催直前に決定される各種当日資料の作成（事情変更対応も有）とコピー、参加者別封筒への資料準備、名札準備、当日の準備委員の行動確認等、またホテル対応等特記事項対応です。

案内状の送付ですが、時間と費用をかけた封書での案内での参加者は1名でした。これに比べE-mailでの案内の手間はほとんどかかりません。（今回は、更に参加者を募るために再案内も簡単にさせて頂きました。）

そこでこの流星を受け取って頂いている皆様にはお願いです。E-mail環境が未の方は是非ともネット環境を取得頂き、E-mailアドレスを本部に連絡ください。E-mailアドレスをお持ちの方で今回封書での案内を受け取られた方も本部へ連絡ください。連絡先は本流星に記載頂きます。次回のOB会総会を円滑に開催するためにも是非とも願する次第です。

今回の第9回「明専・九州工大自動車部OB会総会」を無事開催できましたのは、ご参加頂きました皆様のおかげです。ありがとうございました。また、実行委員会では、リーダー纏め役をしっかりと担われました関西地区幹事山崎さま、会計を担当頂きました小泉さま、京都観光を担当頂き時代祭の観覧席まで準備頂きました中原さま・木庭さま、スカベンジャーラリーを担当頂きました石田さま・石野田さま、カートを担当頂きました三好さま、関西への転勤で急遽の応援頂きました三原さま、適確なアドバイス対応頂きました橘さま、そして単身赴任から戻られ本部との情報交換等を円滑対応頂きました本部事務局の中西さま、皆様お疲れ様でした。

第9回OB会総会スカベンジャーラリー結果

実行委員 石田 (55)

米原駅より琵琶湖北廻りの美景とゲームを楽しみながら、KKR ホテルびわこまで全4チーム無事到着。当日は、小雨であったが、竹島・海津大崎・高崎メタセコイア並木道・白ひげ神社の湖水に浮かぶ鳥居を昔懐かしいラリーマップに従い走行。ドライバーとナビが協力し、タスク写真・お土産・三択クイズで得点をゲットしながら、設定された5ステージの通過時刻を各チームが自己申告してオフィシャルの設定タイムとの差異で減点するスカベンジャーラリーとしました。成績は以下で、上位3チームには、親睦会で成績発表し、表彰と記念品が渡されました。

順位	チーム名	車種	メンバー (敬称略)
1位	「優勝あるのみ」	ホリス	木村(36) 高見(48) 小川(63)
2位	「ビゴ(現役付)」	ビゴ	靄(現役主将) 高橋(現役主務) 中西(50) 石田(55)
3位	「リポイテッドスター」	A180	武地(51) 永田(52) 石野田(54)
4位	「三好号」	イパム	津曲(59) 中村(61) 三好(62)

追伸、近藤(54)、榎本(54)号は、車両トラブルでスタートできず、リタイヤでした。(残念)

第9回OB会総会スカベンジャーラリー完走記

優勝ドライバー 小川 (63)

10月21日(土)自動車部OB会総会のイベントとしてスカベンジャーラリーに参加しましたので報告します。

昼の12時にJR米原駅に集合でしたが、名古屋から距離と速度を計算してほぼオンタイムで僕が現地に到着した時には他のチームはすでに出発後。係の石田さんが気をもんでいるご様子で失礼しました。僕のラリーは家を出発の時から始まっておりまして。僕の車のメンバーはOB会会長の木村さん(36年卒)と高見さん(48年卒)の3名。大先輩方であり無理なお願いは出来なさそうなので、出発前にラリーの内容はしっかり把握しておこうと米原駅前で作戦会議。指示書の内容をいろいろ質問していたら、係の石田さんからはそんなに真面目にやる事はないよと言われましたが、現役でラリーをやっている自分としては遊びとは言え負けられません!楽しく、かつ貪欲に。チーム名は”優勝あるのみ”ボードをセンターコンソールにテープで固定してマップを挟んでいざスタート。木村会長には後部座席に乗っていただき、高見さんは助手席でナビゲーターをお願いしました。高見さんはカーナビはあまり信用せずに地図派との事、普段見ている地図とコマ図はちょっと違いますが、ノリノリでコマ図を読んでもいただきました。ラリーの内容は、A:各地点の通過予定時間との誤差、B:各地点で写真や買い物を行うタスク、C:各地点に行き解くクイズ、それぞれ5問ずつくらいあってそれらの減点合計で順位を付けます。Aの時間誤差は指示速度を与

えられていないのでヤマ勘で走るしか無いのですが、ただ、普通で走った時にかかる時間だろうと、長時間1か所に留まったり、あまりスピードアップしたりしない様に気を付けました。Bのタスクはミスコースさえしなければ現地に行き写真や買い物をすれば良いので減点0だと思います。問題はCのクイズ。何が問題かという現地に行っても答えがどこにあるかわからない。。例えば琵琶湖西岸のメタセコイア並木の本数を問うクイズ。現地の売店のお姉さんに聞いても知らないとの事。電話で支配人に聞いてもらって漸く500本だとわかりました。白髭神社の建立のクイズも結局スマホで調べる事に。。

最終問題も終わり、西大津バイパスに入る前に車を路肩に寄せて再度作戦会議。少しスムーズだったので最後のゴール時間は調整しようという事に。表彰式で分かった事ですが、これがドンピシャで減点0だったとの事。まあ、まぐれですが。。。後部座席の木村会長にお疲れになりましたか?と尋ねると一言。”ゴメン、寝てた。”との事。

OB会の懇親会で結果発表。参加4台を4位から発表。2位を発表した時点で我々のチーム名が呼ばれなかったので思わず3人でガッツポーズ。こうして我々チーム”優勝あるのみ”は文字通り優勝を飾る事が出来ました。

最後になりましたがラリーに参加された皆さん、ラリーを作っていたいただいた幹事の方々、どうもありがとうございました!

いすゞプラザを訪問して

早田 (54)

「いすゞプラザ」とは、主には商用車の役割や運ぶことを支えるいすゞのくるまづくり、いすゞの歴史などを紹介し、よりいすゞを身近に感じていただける施設を目指し、いすゞ自動車創立80周年記念事業の一環として藤沢工場の隣接地に2017年4月、開館した施設になります。

訪問した経緯は、安全衛生の仕事の関係でいすゞ藤沢工場を訪問し、その際にいすゞの紹介として案内されました。まずは、大変りっぱな施設、その中身も充実しており、大人から子供まで楽しめるものでした。設計から生産現場の説明に加え、最新車両からオールドカーまで展示されています。

展示では会誌でおなじみの「流星号」に似た実物車両（スミダM型バス1932年）が展示され、感激しました。ただ、綺麗にリメイクされており、古ぼけていないので、これが本当に「流星号」と同じ系統なのかは確信が持てないところです。さらに展示会場を進んでいくと、大変懐かしい黄色の「ジェミニ」

が展示されていました。これと同型の「ジェミニ」を私が現役時代に、いすゞ自動車より寄贈（評価車両の払い下げ？）され、最新の部車として活躍、自動車部のシンボルとして大変注目も集めました。「117クーペ」の展示もありましたが、思わず「ジェミニ」と記念撮影してしまいました。その思い出には、全九ラリーに出場した時、私の運転でマフラーを大きく凹ませ、響きをかいた覚えがあります。また、給油口が特徴的で、今でもかっこいいと思うのは私だけでしょうか。

小田急江ノ島線の湘南台駅から無料送迎バスが1時間に2本出ており、入場は無料。是非、お近くに来た際は寄ってみてはと思います。いすゞの諸先輩や現在お勤めの方をさしおいて、私が投稿することをお詫びします。

最後にいすゞの社歴は創業が1916年と国内に現存する自動車メーカー最古の歴史を持っていることと、社名は伊勢神宮の五十鈴川に由来していることをお伝えさせていただきます。



昔の写真 1978年ごろ



会員名簿

本会員名簿は個人情報となりますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

- ・住所が空欄の方は、連絡方法がございません。ご存知の方がいらっしゃいましたら、ご本人様に、会誌担当の早田へ連絡(連絡先は34ページ右下を参照)していただくようお願いいたします。連絡先は流星の配布または、自動車部OB会の連絡のみに使用いたします。
- ・住所やEメールアドレスに変更がある方、氏名/住所の記載を希望しない方も、ご連絡下さい。

【物故者】 【会員名簿】

2017/12/1

【編集後記】

今回、初めての「流星」編集を行い、歴代の編集者の大変さ偉大さを身をもって感じています。それにもまして、お願いした原稿を皆様が納期通りに送ってくれたことに感謝しております。ページ数は従来28ページ程度であったのが、36ページと増えたことは皆様のご協力のおかげです。印刷費は従来並です。(早)



明専・九州工業大学自動車部OB会ホームページ

<http://hituacb7.kagebo-shi.com/index.html>

一般公開部分は、どなたでも見ることができます。

過去の自動車部資料から現在のOB会の活動まで幅広くカバー、見応え十分です。

管理者:HP担当役員 近藤 54)

発行日	2017年12月20日
発行者	九州工業大学賞善会自動車部 主将 今澤 明専・九州工大自動車部OB会 会長 木村 36)
編集者	早田 54)





明専・九州工業大学自動車部 OB 会／九州工業大学責善会自動車部